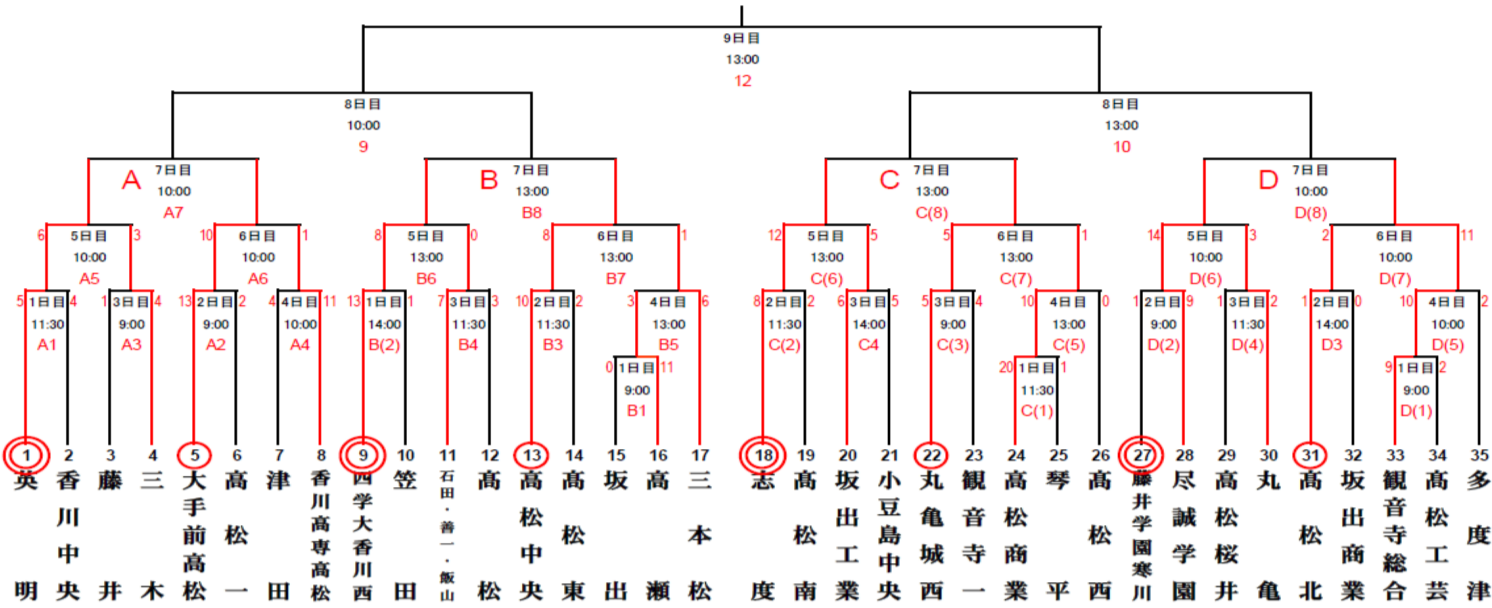


秋季四国地区高等学校野球香川県大会はじまる

西岡歯科通信

第76回秋季四国地区高等学校野球香川県大会は、令和5年9月9日(土)に開幕。高松商業はノースードに甘んじ、1回戦目の琴平高校戦では、末包旬希(1年)投手がぎつちり序盤を



抑えて快勝。2回戦目の高松西高戦では佐藤晋平(2年)投手が2安打完封するも、3回戦丸亀城西戦で惜敗しました。来年に向けて頑張ってください。心よの応援致します。

西岡歯科医院

〒760-0062
香川県高松市塩上町
3丁目14番17号

☎087-831-1987



高松商OB最新情報

長尾監督が就任して10年が経過しました。その動向についてまとめてみました。浅野君が目立っていますが、浅野君だけではありません。皆各方面で活躍しようとしています。

○監督一〜二年目
現高松の末包昇大選手
ご承知の如く末包選手の活躍は目覚ましく、高松の原動力の一角を担う選手となりました。
石田啓介投手



立教大学を経て地元アムロンに在籍し、今年は天皇賜杯全日本軟式野球大会や高松市民早朝野球大会において一部優勝する立役者として活躍しています。

美濃晃成内野手
近畿大学を卒業後、JRR四国に在籍し、都市対抗野球大会では出場機会がほとんどなく悔しい思いをしたが、日本選手権四

の活躍を見せ、現在は香川オリイプガイナーズでNPPL入りを目指しているようです。

○二〜三年目
山本一輝内野手
流通経済大を経て日本通運四国に在籍しているようです。

○三〜四年目
第108代主将、米麦圭造選手を中心に優秀な人材が結集した年で、明治神宮野球大会(高校野球)優勝をはじめ翌年の春のセンバツ高校野球では準優勝を果しました。



国予選2次予選では首位打者賞に選出されるなど、チームとして2年ぶり17度目の本大会出場に貢献したようです。

植田響介投手
前号で紹介した通り、現在ENEOSで活躍中です。

天野凜介内野手
愛知学院大(準硬式)を経て四国電力高松に在籍し、今年天皇賜杯全日本軟式野球大会に出場を果たしました。



城西国際大を経て日本通運四国に在籍しています。

○四〜五年目
第109代主将、植田理久都捕手時代、春夏共にベスト8に留まり活躍中です。

飛倉爽汰外野手
卒業アムロンに在籍して、浦投手と共に活躍しています。

岸本将翔外野手
松山大学に進学して2年3年で全日本大学野球選手権出場を果たし、今後が楽しみです。



明治神宮野球大会(ベスト4)と春夏連続出場原動力として活躍した彼はJFE西日本に在籍して活躍中です。

香川卓摩投手
○六〜七年目

浅野君情報

プロの1軍のレギュラーになるのは大変な事か、浅野君が身を挺して教えてくれているような気がします。投手も二流簡単に打たしてくるほど甘くありません。金属バットと木製バットの違いからくるスイング修正の結果、2軍戦で成績が出たように思います。

9月30日、松田直浩選手は、2軍戦で8回に代打に立ち2塁打を打ち、10月1日では1軍スタメンに抜擢。最後まで気を抜かない姿勢を浅野君は若き選手たちは直接見て、感じ、伝わったことでしょうか。松田選手、今まで数々の感動をありがとう！そしてお疲れ様でした。これから浅野君はその熱い思いを引き継ぎ、『新熱男』として頑張れ！



歯科の豆知識

歯科健診が受けられるタイミングについて

歯科は痛みがあったら行くという患者様は今でも根強く思われているようです。昨今、データ分析すると健康のパロメーターは歯が関係するかもしれないということが最近になってわかってきました。そこで今回より、年齢ごとに受けられる歯科健診とその意義についてまとめました。ご参考ください。

19歳からの健診について

○10歳から20歳

高松市では、歯科健診の必要性をご理解頂き、30歳から10年に一度の健

高校を卒業し、大学進学する者社会人になる者、いろいろな道に歩まれることでしょうか。そこでは、年1回の身体的な健康診断は行われますが、残念ながら口腔内の健康状態を詳細に記載する項目はありません。ないからしないという単純な考えでいいのでしょうか？

この時期に起こることといえば、**進学、就職で急に一人暮らしになり、生活のリズムや食習慣が代わり、その結果、口腔内の状態が一気に悪化してしまう場合があります。**ただでさえ、歯周病をはじめする時期なので、この時期に歯科健診が何故なの？と疑問を持たなければなりません。

○「国民皆歯科健診」実現に向けて

歯科の先人というか、我々の先輩歯科医師たちは年に一度は健診を受けられるように施策を医師や厚生労働省、国会議員などに働きかけてきました。しかしながら「歯医者は歯の医者」で、身体との相関性はないので必要性を感じないと言われてきましたが、昨今は急速なIT化によりデータ分析が出来る様になり、データ解析の結果、歯周病と全身疾患との相関性を示すエビ

デンス(証拠)が次々と出されるに伴い、医師の方がむしろ積極的に身体病と口腔ケアの関連性を認めて頂くとともに、国会議員の中にも口腔ケアの重要性を説く人が出てきました。

令和4年6月7日、政府は「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2022」を閣議決定したその中に国民皆歯科健診の具体的検討の推進が盛り込まれました。はやければ数年後に実現される見通しが出てきた次第です。やっとな小さな火がともったことですが、**これからは患者である国民の皆様からこの要請が必要となります。**

年に一度歯科健診を受けるとが出来るならば、病気の源である歯周病が減り全身に広がる病気への重症化を防ぐことが出来るようになりますので、お力添えの程よろしくお願い致します。

地域だより

高松一高野球部OB会と同窓会などが実行委員会を立ち上げて企画した高松第一高校出身の中西太さんをしのぶ「お別れの会」と追悼試合が行われます。

日時 11月3日(日) 8時
場所 レクザムスタジアム
8時頃から追悼セレモニーを行い、9時より高松一、高松、高松商のOBによる追悼試合を行う予定です。当日は、客席の入口には献花台が設けられ、かつて指導を受けた栗山英樹さんも出席する予定です。会場には中西さんの人柄や功績を振り返る冊子を配布するほか、過去の映像や思い出の品が展示されます。